



STRIKER

ストライカーDESK Swift

組立・取扱説明書

このたびはオカムラ製品〈ストライカーデスク スイフト〉をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書は〈ストライカーデスク スイフト〉を正しくご使用いただくためのガイドブックです。ご使用前に本書をよくお読みになり、内容をご理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。また後日、参照できるように保管していただくようお願いいたします。

okamura

もくじ

安全に組立ていただくために(必ずお守りください)	1P
組立方法	2~6P
安全にお使いいただくために(必ずお守りください)	7~8P
設置の際のお願い	9P
適切な換気の励行に関するお願い	9P
各部の名称	9P
寸法	10P
使用方法	10~15P
天板昇降の操作方法	13P
末永くお使いいただくためのお願い	16P
主な材質と表面加工	17P
保証の明細	18P
JOIFA標準使用期間	18P
製品の廃棄について	18P

安全に組立ていただくために(必ずお守りください)

⚠ 注意

この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

⚠ 注意

- 組立の際は、十分な作業スペースを確保して行なってください。思わぬケガにつながる恐れがあります。
- 組立は、二人以上で行なってください。一人で行なうとケガをする恐れがあります。
- 組立の際は、指定の工具を使用してください。不十分な締め付け等で、破損や転倒によるケガをする恐れがあります。
- 電動工具を使用する際は、手袋を外して行なってください。工具に巻き込まれてケガをする恐れがあります。
- 部品の端部や裏側、スキマには気を付けてください。ケガをする恐れがあります。

正しく組立ていただくために

- 部品の点数をチェックしてください。
- 組立に使用する工具を準備してください。
- ネジは仮締めの後、本締めをしてください。
- ネジ頭はカジらないように注意してください。
バリ等が発生し、ケガをする恐れがあります。
- 製品は大切にお取り扱いください。

組み立てに必要な工具

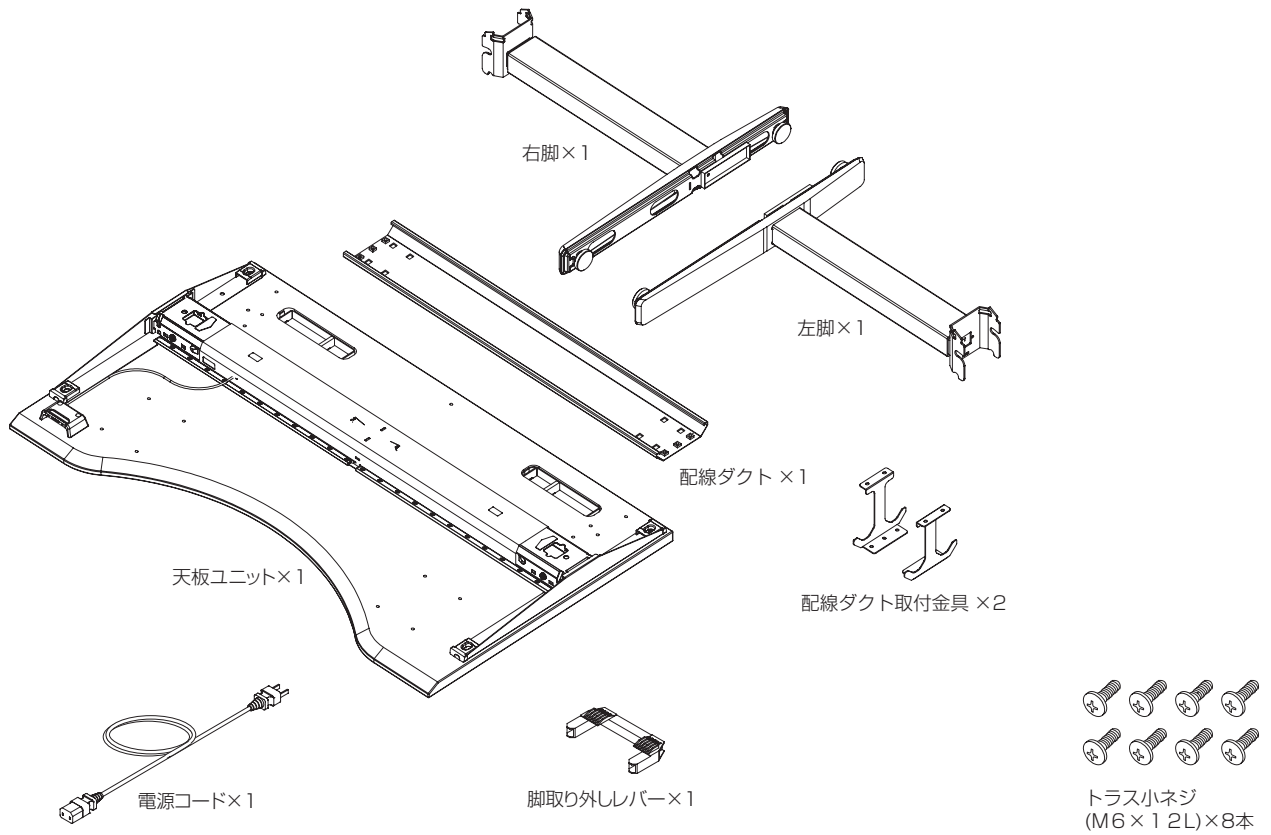


⊕ドライバー

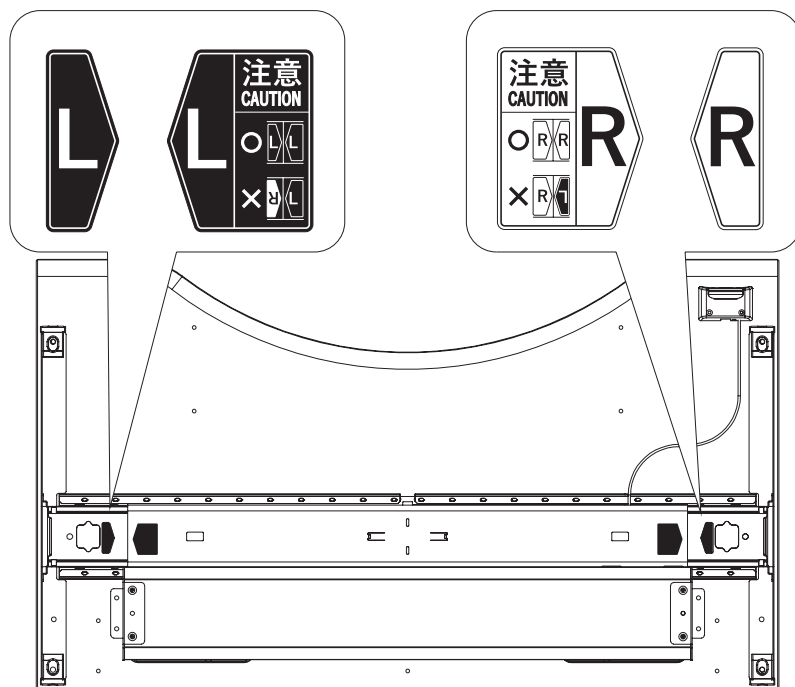
組立方法

構成部品

組立てる前に部品を確認してください。



組み立てを始める前に脚の取り付け方向にご注意ください。



組立方法



注意

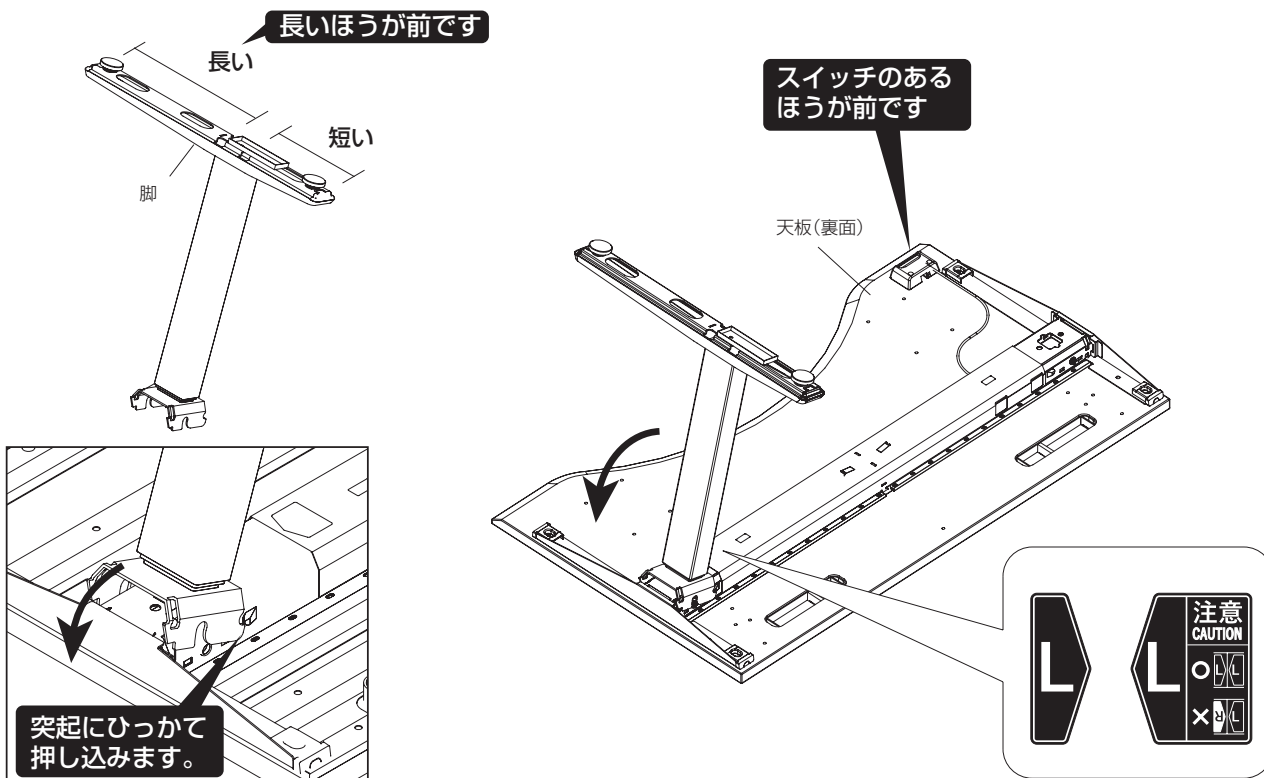
- ・組立は二人以上で行なってください。
- ・ケガをしないよう、部品の端部やスキマには触れないでください。
- ・部材や床を傷つけないよう、床に保護材を敷き、その上で作業してください。

組立手順

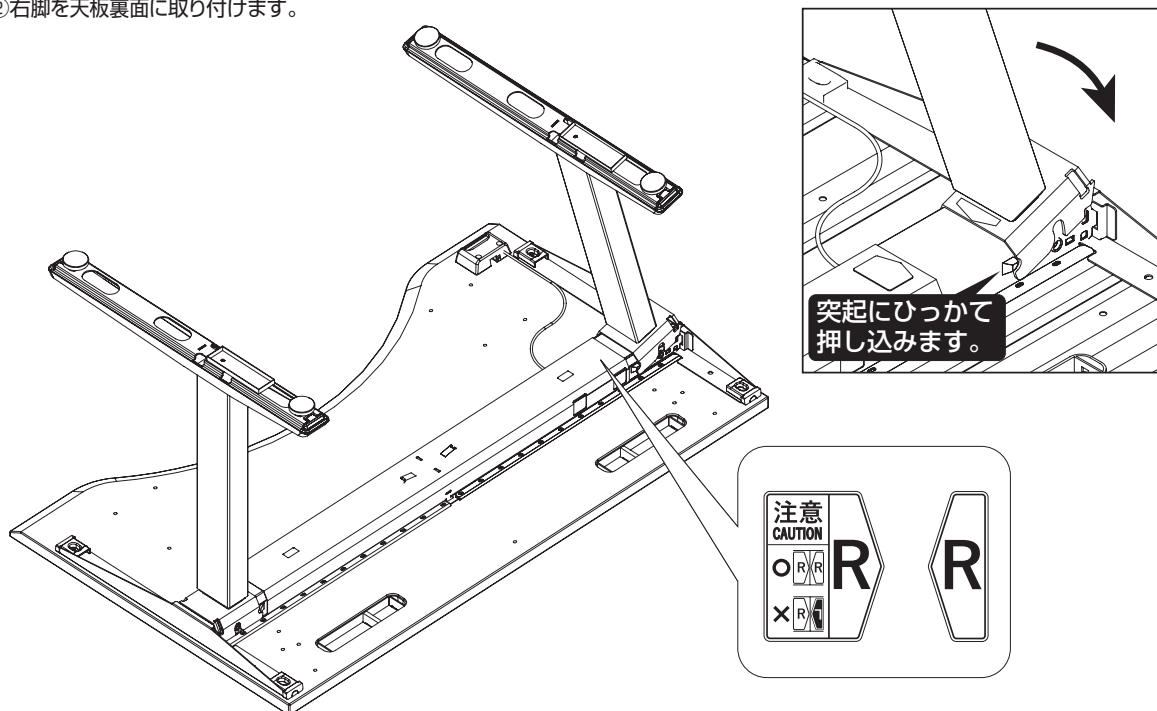
手順に従って正しく組み立ててください。✔

1 脚の取り付け

①左脚を天板裏面に取り付けます。



②右脚を天板裏面に取り付けます。



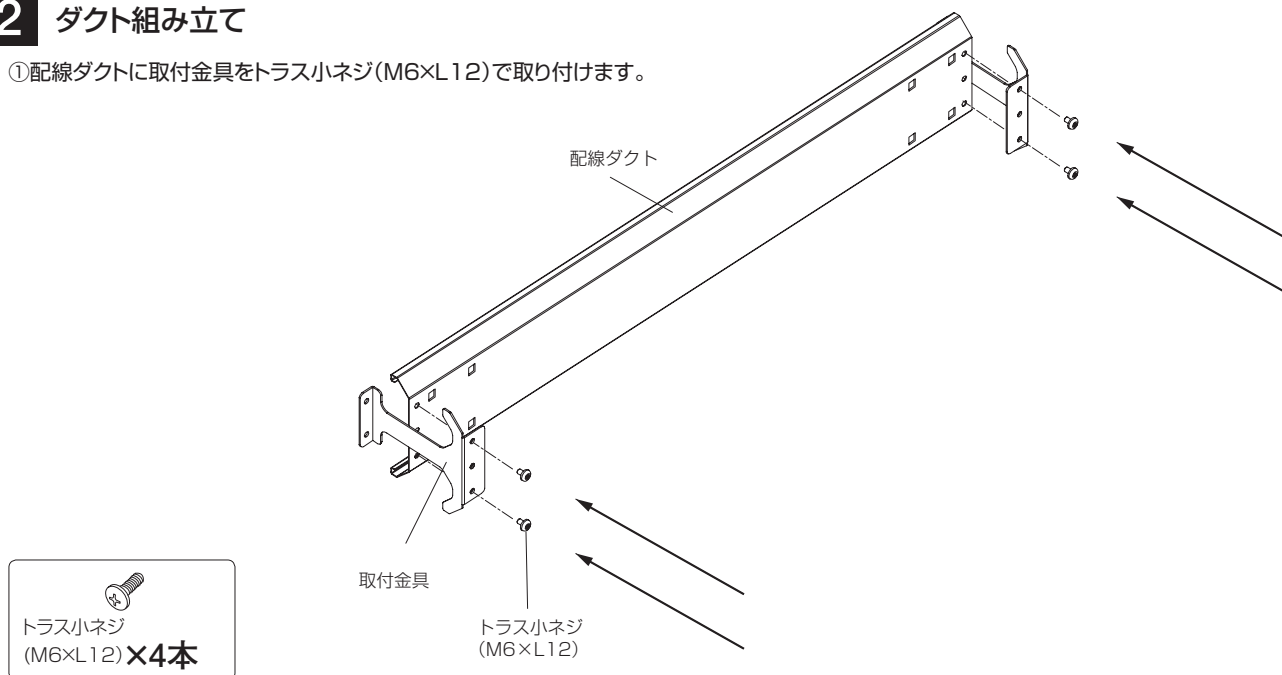
組立方法

組立手順

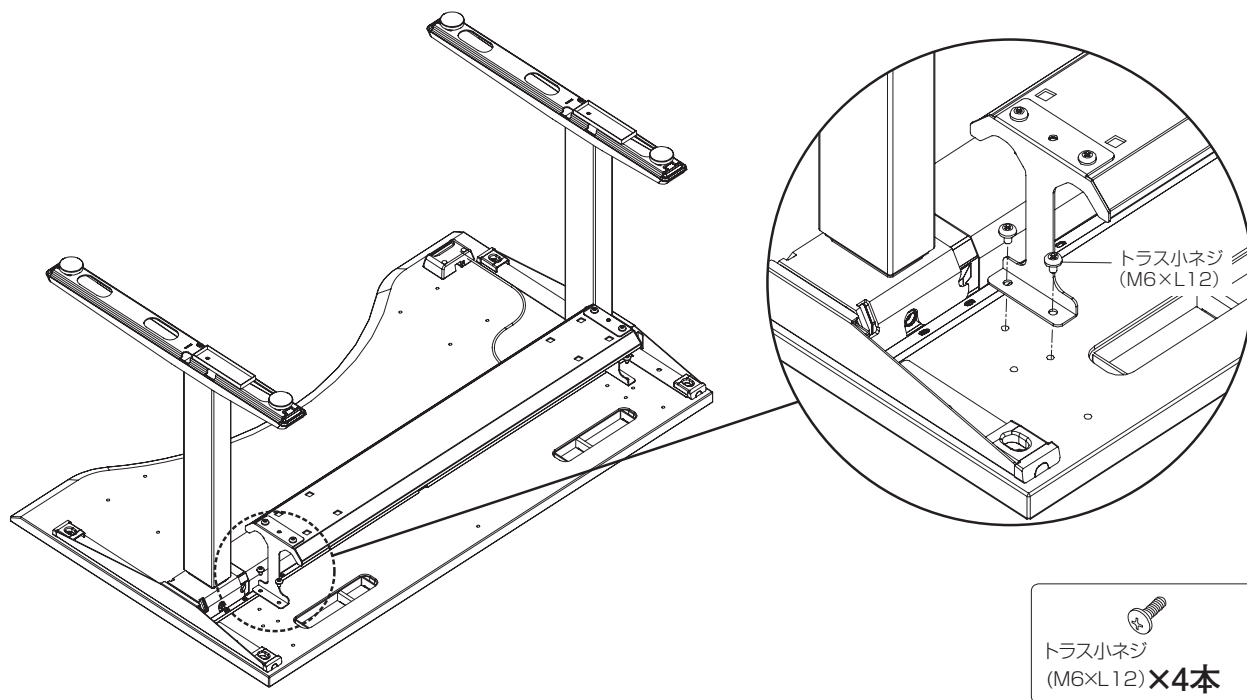
手順に従って正しく組み立ててください。

2 ダクト組み立て

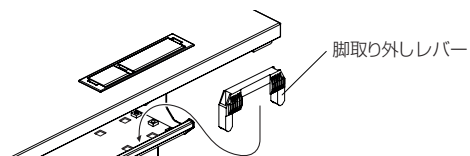
① 配線ダクトに取付金具をトラス小ネジ(M6×L12)で取り付けます。



② ①で組み立てた配線ダクトをトラス小ネジ(M6×L12L)で天板に取り付けます。



③ 最後に、脚取り外しレバーをダクト底面に空いている孔の、任意の位置に差し込んでください。



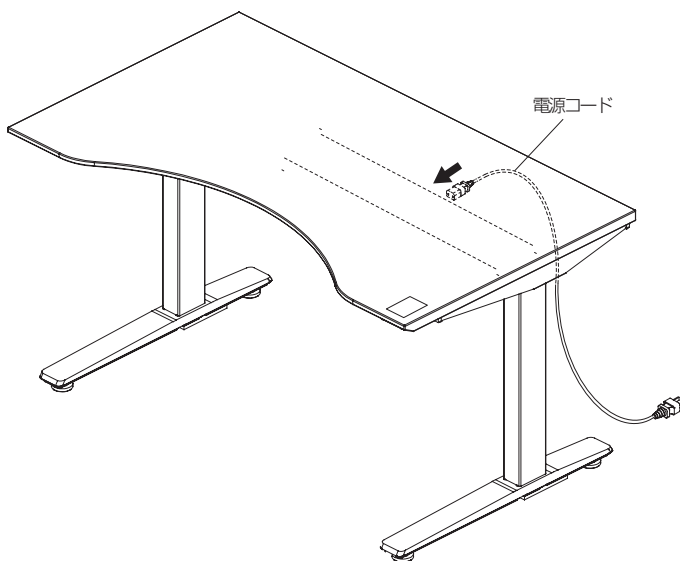
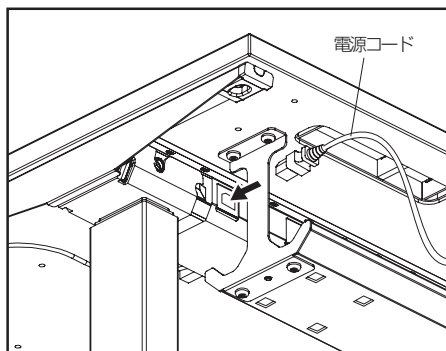
組立方法

組立手順

手順に従って正しく組み立ててください。

3 電源コードの接続

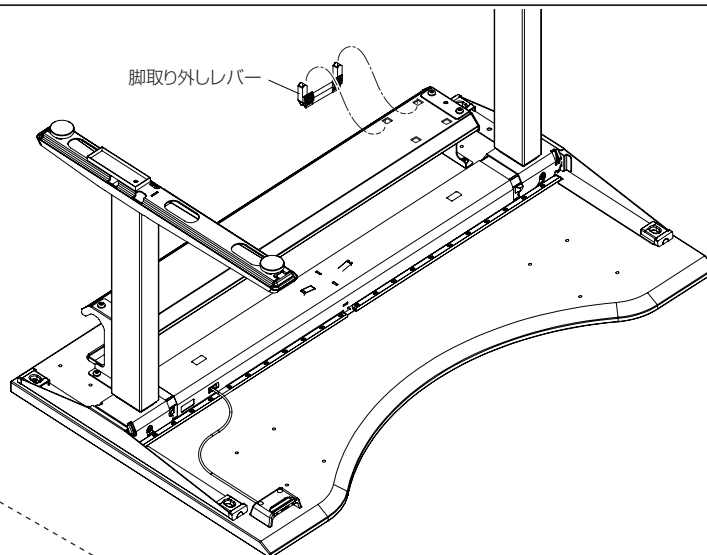
- ① デスクを正転させます。
- ② 電源コードを、本体図の位置に接続してください。
- ③ 12頁の「天板昇降の操作方法(レバータイプ)」を参照し、動作チェックをしてください。



4 脚の取り外し

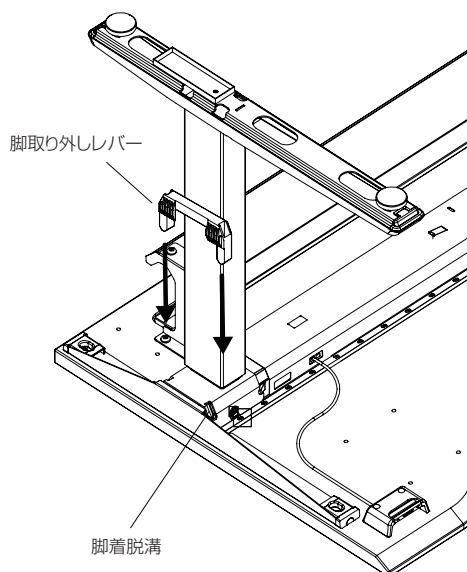
※作業前に天板高さは一番下まで下げてください。

- ① 脚取り外しレバーを取り外します。

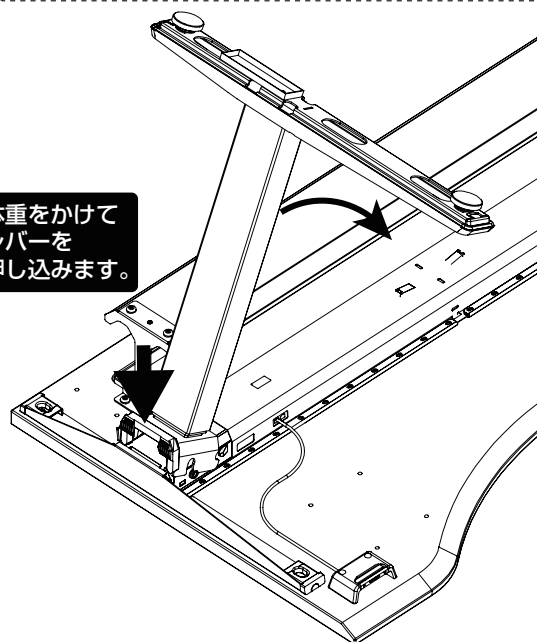


- ② 脚取り外しレバーを脚着脱溝にセットします。

- ③ 体重をかけてレバーを押し込みながら、脚を内側に倒して取り外します。



体重をかけて
レバーを
押し込みます。



組立方法

組立手順

手順に従って正しく組み立ててください。

5 外観と通電検査の確認

外観 OK NG

- | | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 1. 配線コードが絡まっていないか。 | 5. 天板は斜めに傾いていないか。 |
| 2. 配線コードに無理な屈曲がないか。 | 6. 上部フレームと昇降装置を固定するネジに緩みガタはないか。 |
| 3. 配線コードが無理に抑えつけられていないか。 | 7. 下部アームと昇降装置を固定するネジに緩みガタはないか。 |
| 4. プラグ、コネクタが最後まで差し込まれているか。 | |

通電 OK NG

- | | |
|------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1. 昇降装置は正しく、滑らかに作動するか。 | デスク 650H ~ 1250H (標準設定) |
| 2. 昇降中に異音がないか。 | |
| 3. 焼けるような異臭がないか。 | ※下降時は720H で一時停止。
再度下降ボタンを押すと低速で650H(テーブルは700H)まで下がります。 |
| 4. 設定通りの動きをするか。 | |

最後に…

組立て後に必ず点検し確認してください。

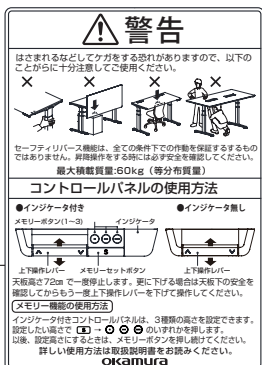
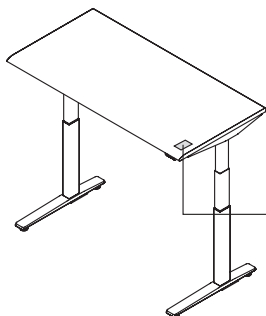
- ボルトに緩みがないか?
- 製品にキズ、汚れ、ガタツキ、不具合等がないか?

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。

注意 この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表しています。

警告ラベルの説明



●この製品には使用者の生命、身体、財産への危害や損害を防ぐ目的として下記の注意ラベルが貼ってありますので、注意事項を守ってご使用ください。

●警告ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり剥がしたりしないでください。

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告

火災や感電の恐れがありますので、以下のことから必ずお守りください。

●異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、弊社販売窓口までご連絡ください。異常、故障状態のままで使用すると火災や感電の原因となります。

※異常状態とは、煙が出ている、へんな臭いや音がする、昇降ユニットやコントローラに水や異物が入った、などのことです。

●指定電圧以外の電圧では、使用しないでください。

●主電源を切らずに製品の取り付け、取り外しをしないでください。

●タコ足配線はおやめください。

●天板昇降操作は1分を越えて連続操作しないでください。1分間連続操作したときは10分以上操作しないでください。故障の原因となります。

●付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。

●電源コードを傷つけないでください。また電源コードが傷ついた状態で絶対に使用しないでください。

●昇降ユニット、コントローラ、コントロールパネルは絶対に分解しないでください。

●電源プラグやコンセント周りのゴミや埃は定期的に取り除いてください。

●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。

●屋外や水のかかるところなどでは絶対に使用しないでください。また濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

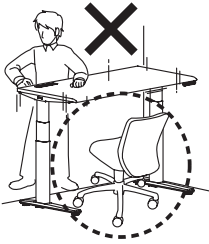
●長期間に渡り使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

定格電圧	100V
定格消費電力 ノーマルタイプ	220W
定格周波数	50/60Hz

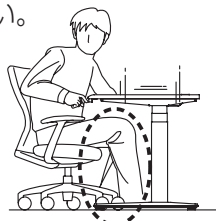
機器が結線された状態で、デスク/テーブルを動かさないでください。断線や機器転倒の恐れがあります。

はさまれるなどしてケガをする恐れがありますので、以下のことから十分注意してください。

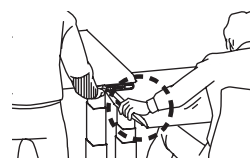
●昇降操作をするときは天板の周囲、特に下に物が無いことを確認してください。



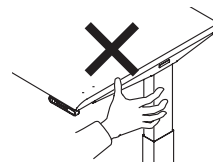
●昇降操作をするときは天板の下にもぐったり、足や手を入れたりしないでください。



●昇降操作中は周囲の人に十分注意してください。



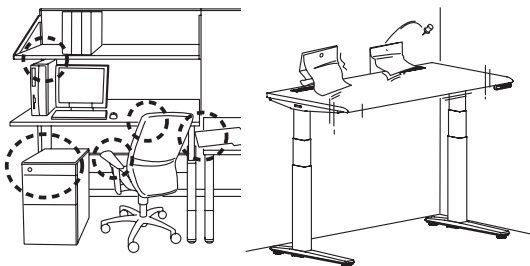
●昇降操作中は脚などの可動部には絶対に触れないでください。



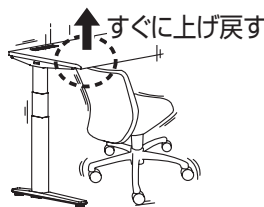
安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

警告

はさまれるなどしてケガをする恐れがありますので、以下のことがらに十分注意してください。



- 天板を下げるときは天板下のワゴンやイス、その他のものを取り除いてから行ってください。破損や故障の原因となります。
- 天板を下げているときに誤ってイス（特に背や肘）やワゴンなどにあたった場合は、即座に操作を中止し、天板を上げ戻してください。転倒や破損の恐れがあります。

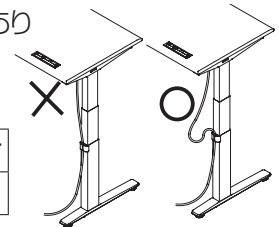


- 天板を上げるときは天板上方に設置された棚等に、天板や机上面に設置されたものがぶつからないよう十分に注意してください。また、壁面に取り付いている掲示物などは取り除いてから行ってください。破損の原因となります。
- デスクの天板下にワゴンを収納する際、ワゴンの上部天板に指や手をかけないでください。スキマにはさまれてけがをする恐れがあります。

- 電源などのケーブル類は、天板最大高さでの使用状況において十分なケーブル長さのものを使用してください。また、天板昇降時に絡まったり、引っ掛かったりしないよう注意してください。断線や機器転倒の恐れがあります。

【天板昇降範囲】

脚種類	デスク天板高さ
アジャスター脚	65~125cm



注意

このデスクを事務用以外の目的で使用することはご遠慮ください。

破損や転倒の恐れがありますので、以下のことがらに注意してください。

- デスクやテーブルを踏み台がわりにしないでください。転倒してけがをする恐れがあります。
- デスクの角に重い物をのせたり、座らないでください。
- ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は締め直してください。
- パネルにぶら下がったり、寄りかかったりしないでください。
- 運搬具として使用しないでください。
- デスクの中に危険物（壊れ物、薬品、生き物など）を収納しないでください。



アジャスター調整時には、手や足を挟まないように2人以上でしっかり支えて行ってください。

最大積載質量以上のものを載せないでください。転倒や破損の恐れがあります。

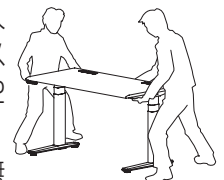
積荷部	最大積載質量
デスク天板面	60kg(等分布質量)

※等分布質量とは……

天板に均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

レイアウトの変更等による運搬は次項のことを守ってください。

- デスクのうえにあるものは取り除いてください。
- 段差や溝を乗り越える場合は、必ず2人以上で持って運んでください。(キャスタータイプ以外は、場合によらず必ず2人以上で持って運んでください。)
- 移動の際は、周辺に障害物や危険が無いか十分に確認してください。



改造はしないでください。故障や事故の原因となります。

- お客様による改造は、故障の原因となります。また、その場合の責任は弊社として負いかねます。
- 改造が必要な場合は、事前に弊社販売窓口までご連絡ください。

設置の際のお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、反り、カビの発生や感電事故、漏電の原因となりますので、使用しないでください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

- 窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

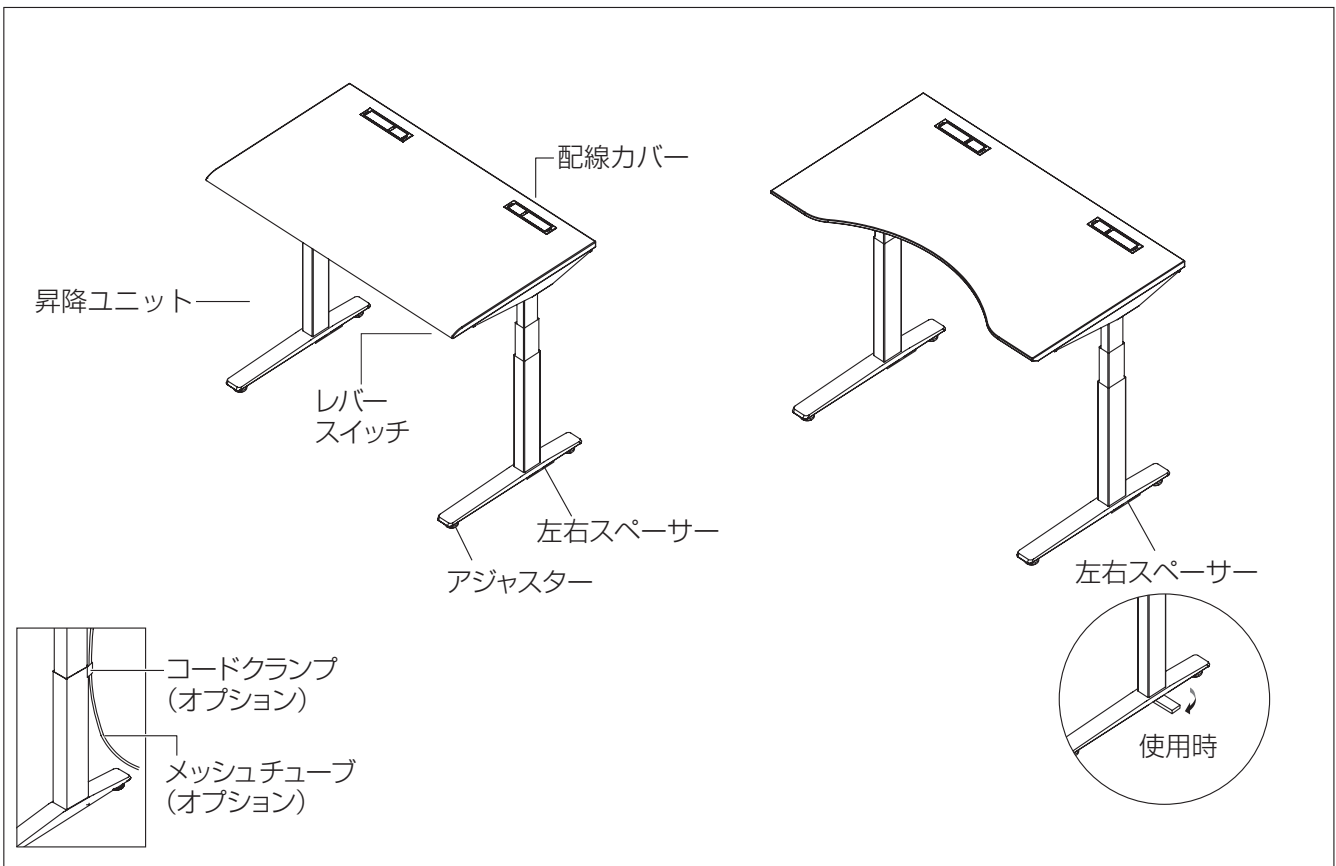
水平を保つように設置してください。

- 設置するときは、必ず本体を水平を保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。
- アジャスターにより、床面と水平を保つように調整してください。
- 隣り合う机や壁等、間隔を空けて置いて下さい。可動時に指や物が挟まる恐れがあります。
- 左右スペーサーは必ず使用してください。可動時に指や物が挟まる恐れがあります。

適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行なうようにしてください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにしてください。

各部の名称



寸法

製品名称	製品番号	寸法(mm)		
		幅	奥行	高さ
ストレートタイプ	80GDTH	1400	800	650~1250
	80GDTJ	1200		
	80GDMH	1400	700	
	80GDMJ	1200		
ラウンドタイプ	80GDYH	1400	800	
	80GDYJ	1200		
	80GDWH	1400	700	
	80GDWJ	1200		

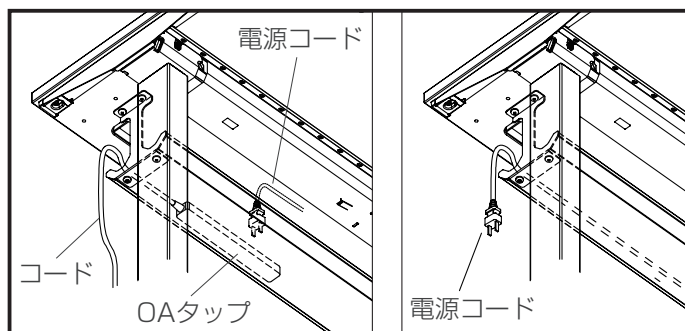
使用方法

■配線経路図

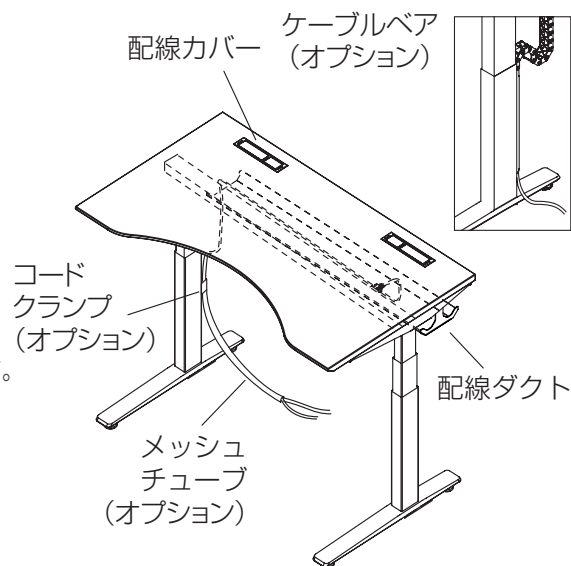
床から立ち上げる電源ケーブルや LAN ケーブルはケーブルガードにより保護し、ケーブルの余長は天板裏の配線トレーに収納します。
 デスク用ケーブルガードはケーブルベアとメッシュチューブの2タイプがあります。
 ※ケーブル類が天板上昇時に断線しないよう天板を最大高さまで上げてから、配線します。

OAタップを使用した場合

OAタップを使用しない場合



磁石付きのOAタップは天板裏面、またはフレームに取り付け可能です。
 磁石無しのOAタップは配線カバー受けに載せてください。

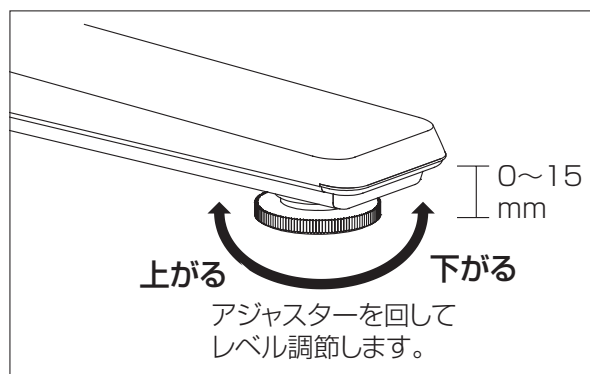


使用方法

■アジャスター

テーブルの高さは本体下部のアジャスターにより、図の範囲で調整できます。据付の際にはこのアジャスターにより、床面との水平を保つようお願いいたします。

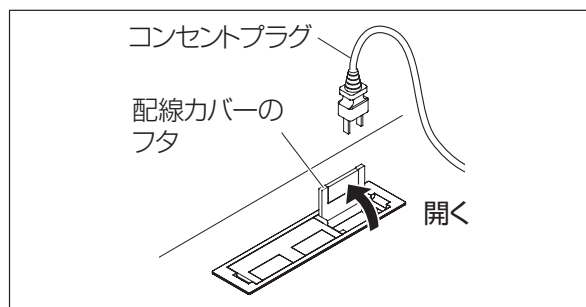
※アジャスター調整時には、手や足を挟まないように2人以上でしっかりと支えて行ってください。手順は、右記のとおりです。



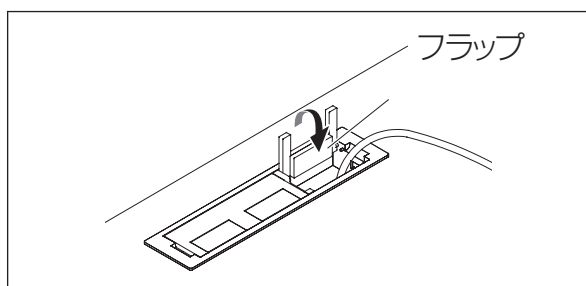
■配線カバーの使用方法

天板左右2ヶ所に配線口を設けており、煩雑しがちな机上面のワイヤリングをすっきりまとめます。

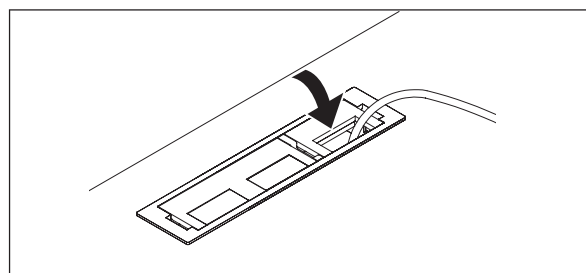
①配線カバーのフタを開き、コンセントプラグを挿入します。



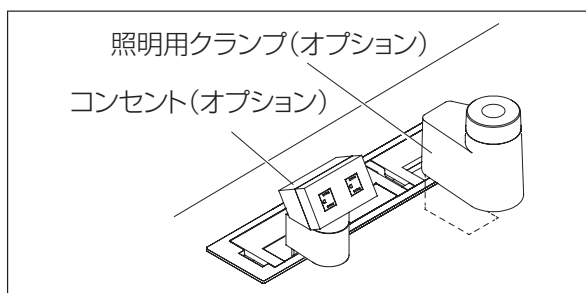
②フタの中央のフラップを折りたたみます。



③フタを閉じます。



配線カバーには天板クランプ式のオプションを取付けることができます。



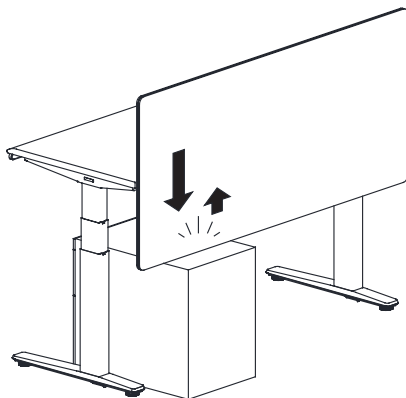
使用方法

■セーフティリバース機能について

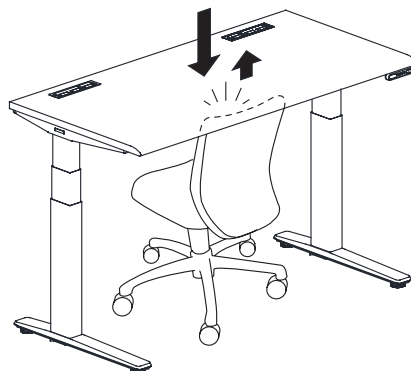
デスク・テーブルには昇降中に挟み込みを防止するための、セーフティリバース機能が搭載されています。昇降操作中に天板やパネルが対象物に接触して負荷がかかると、リバース装置が働き、自動で約3cm戻ります。操作中にセーフティリバース機能が働いた時には、天板下面や後面が対象物に接触していないか確認してください。

セーフティリバース機能が働く状況

- ワゴンを奥に入れ過ぎた状態で操作をしてバックパネルと接触している



- 椅子を天板下に入れた状態で操作をして接触している。

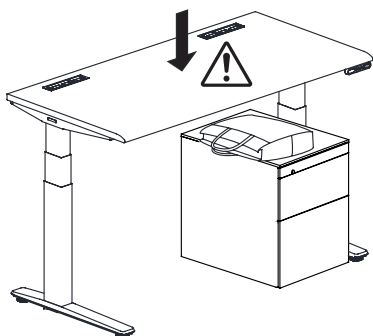


⚠ 警告

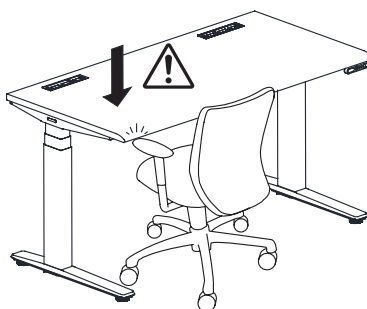
- ・セーフティリバース機能は、対象物や製品の破損を未然に防ぐための機能ですが、全ての条件下での作動を保証するものではありません。
- ・天板の昇降操作をする時には、周囲に接触するものが無いか必ず確認してから操作を行ってください。

※天板やバックパネルの下に置いてある対象物が鞆やクッションなど柔らかいものや、対象物の端だけが接触して、たわんだ状態のときなど、対象物に接触してもセーフティリバース機能が正しく働かない場合はすぐに操作を中止してください。

- 対象物が鞆やクッションなど柔らかいとき
- 厚手のカーペットなど柔らかい床材の場合

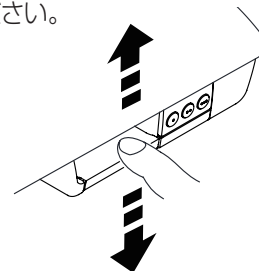


- 対象物の先端のみが接触してたわんだ状態のとき



もしも挟まってしまったら

- デスクを持ち上げて、挟まっているものを取り除いてください。
- デスクが動かせない場合は、ボタンを小刻みに押して、天板をもどしてください。



天板昇降の操作方法

コントロールパネルを操作することにより、天板を上下昇降できます。また、メモリー機能で、記憶されている高さまで動作します。メモリー機能は3種類の高さを設定できます。

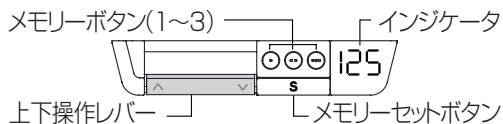


警告

天板昇降操作は1分を越えて連続操作しないでください。

1分間連続操作したときは10分以上操作しないでください。故障の原因となります。

■コントロールパネルの名称



■操作方法

上昇・下降(レバー)

上昇させる場合はレバーを上、下降させる場合はレバーを下に操作し昇降させます。

天板を止める・止まる

- 任意の位置でレバーから指を離します。
- 最上限位置・最下限位置に達すると自動的に止まります。
- セーフティリバース機能が働くと、レバーを操作していても自動的に止まり、戻ります。

メモリー設定位置へ動かす

メモリーボタンを押し続けると、記憶されている高さまで動作します。

インジケータ

デスク高さを表示します。

メモリー設定の方法

- ①レバーを操作して記憶させたい高さに天板を合わせます
- ②メモリーセットボタン (S) を押すと『S』が約2秒間点滅表示されます。
- ③その2秒間の間にメモリーボタン (1 (1) ・ 2 (2) ・ 3 (3) のいずれか) を押すと、押したメモリーボタンの番号が表示され、高さが記憶されます。

初期化(インシャライズ)の方法

- コンセントを抜き差しした後や停電後は、使用前に必ずこの操作を行ってください。
- ①昇降ユニットを最も縮めた状態で10秒以上レバーを下方向に長押ししてください。
- ②昇降ユニットが10mm程下がり、初期化が完了となります。

デスク高さ初期設定方法

※実際の天板の高さとインジケータの高さにずれが発生した時に行います。

- ①天板を最大高さ (1250mm) まで上げた状態にして、インジケータ設定をおこないます。
- ②メモリーボタン (S) を10秒以上長押しすると、『- - -』が点灯した後、現在設定されているデスク高さが表示されます。
- ③レバーを操作して、インジケータの表示を125に合わせてください。
- ④全てのボタンを離して約5秒経つと、表示されている数値が点滅し、高さ初期設定が完了します。

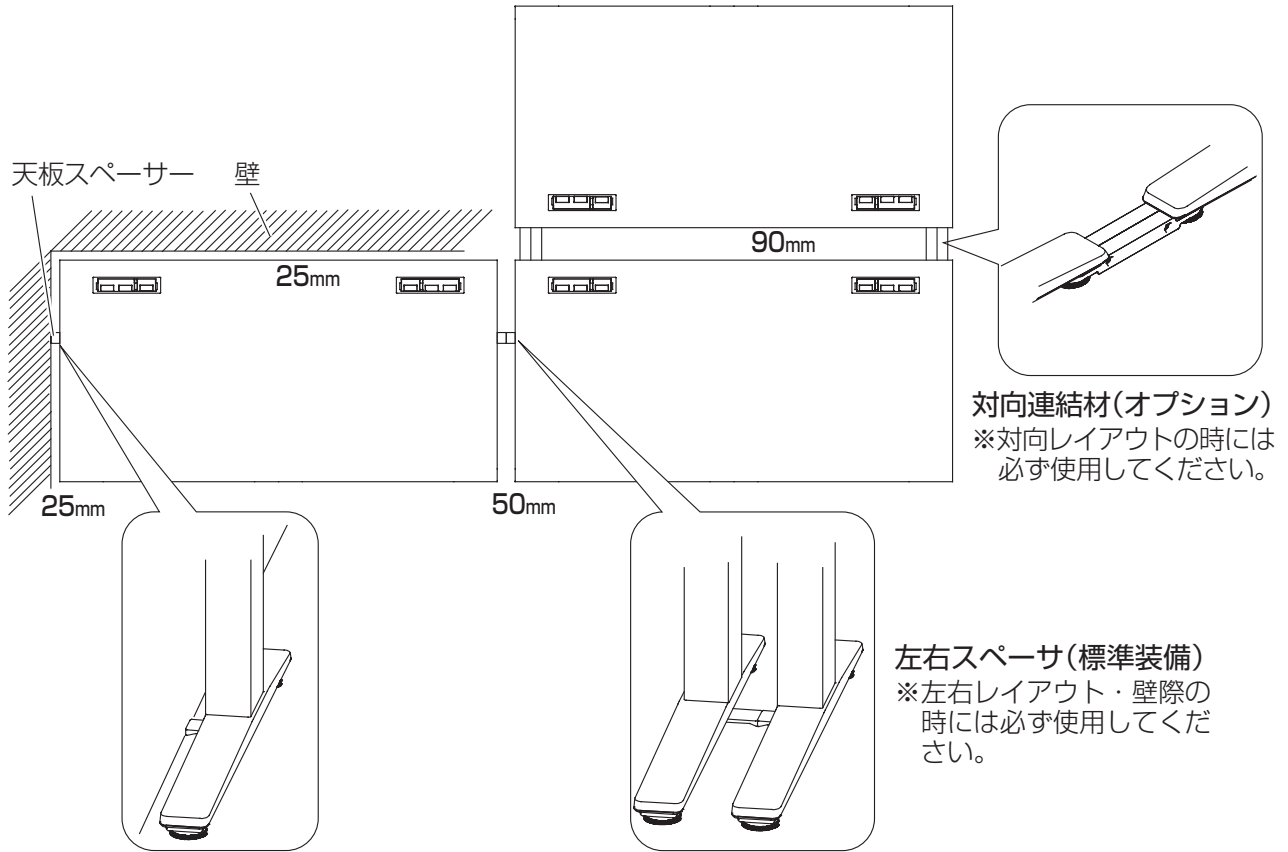
■エラーコード一覧

エラーコード	内容
E01	メモリー設定位置が不明のため、インシャライズが必要です。
E02	上昇方向に過負荷がかかっています。
E03	下降方向に過負荷がかかっています。
E16	誤ったボタンが押されています。

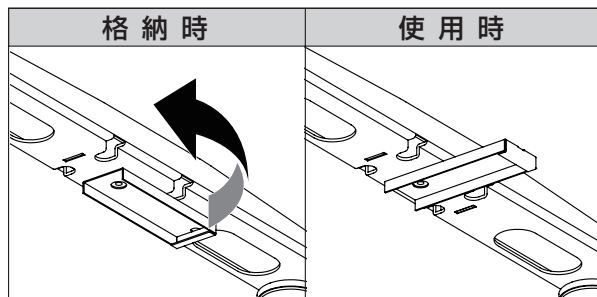
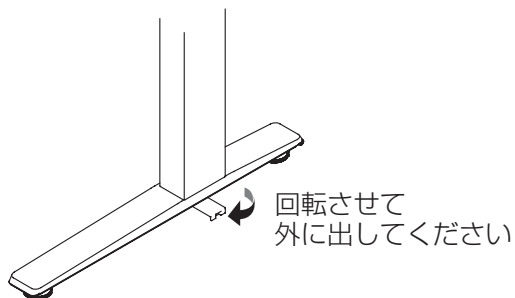
使用方法

■左右スペーサーと対向連結材

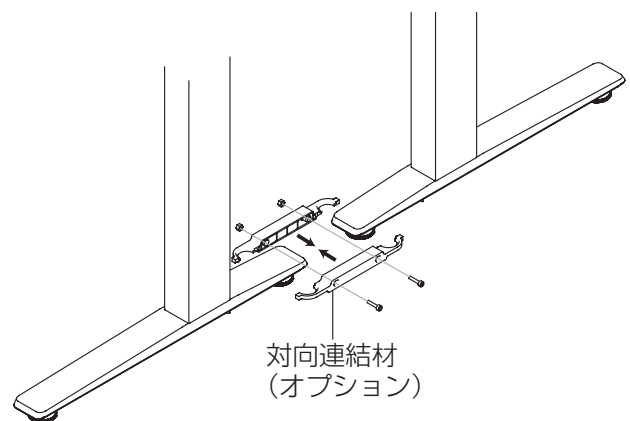
スペーサーや連結材は、デスクを壁際に設置するときやデスクを対向に並べたときに、一定の隙間を確保して指やケーブルを挟まないようにするためのものですので必ず使用してください。左右スペーサ（標準装備）と対向連結材（オプション）があります。



左右スペーサ(標準装備)



対向連結材(オプション)



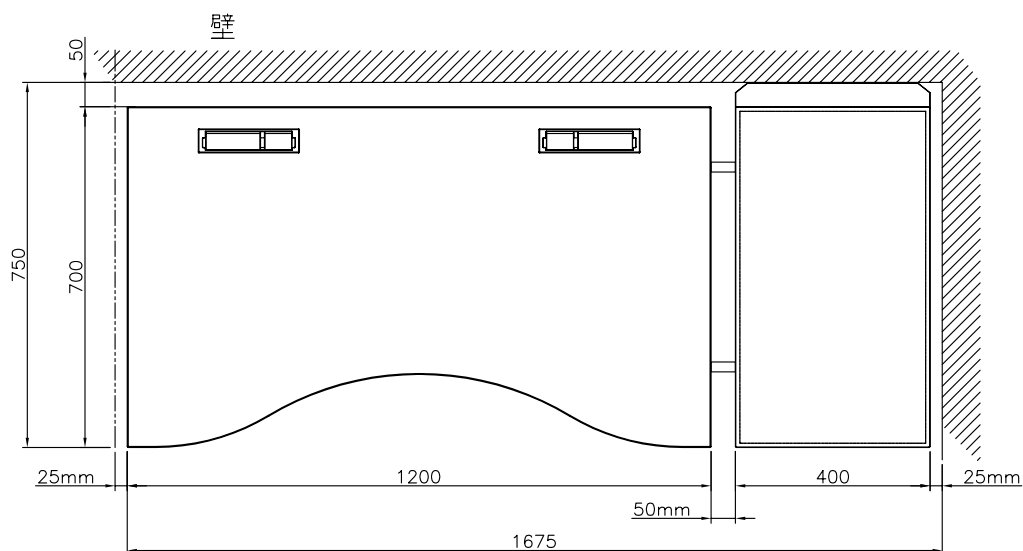
⚠ 注意

デスクを移動するときは、対向連結材は必ず取り外してください。

使用方法

■シェルフ横付け時

デスクの横にシェルフをレイアウトする際は、デスク・シェルフに付属下記の通り一定の隙間を必ず確保し使用してください。



末永くお使いいただくためのお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、製品に不具合が生じる場合があります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

使用上のご注意

- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めに点検と修理(有償)を弊社にご用命ください。
- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず早めの増締めをしてください。
- 湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。
- 加熱した鍋や湯沸かしなど、高温のものは直接置かないでください。

日常のお手入れについて

樹脂部・メラミン天板

【日常のお手入れについて】

- 固く絞った柔らかい布で水拭きをしてください。
- 〈注意事項〉
- 強く擦らないでください。艶上がりが発生し、色味が変化します。汚れが落ちない場合は、手指消毒用アルコール材を柔らかい布にしみこませ、拭きあげてください。
 - アルカリ、酸性の洗浄剤は使用しないでください。
 - 天板面を拭く際に、洗浄剤がメラミン化粧板と縁材のスキマに染み込まないようにしてください。
 - 汚れた場合は速やかに、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸し、絞ってから拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらにから拭きして乾燥させてください。

スチール部

- 清潔で乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
- 水分、指紋(皮脂)等が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。水分、指紋(皮脂)等が付着した状態で放置しますと、光沢、風合いが失われる場合がありますのでご注意ください。

著しく汚れた場合のお手入れ

- 柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液(1~3%)に濡らし、強く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

お手入れの際のご注意

- 市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

アフターメンテナンスについて

- 弊社では製品を長くお使いいただけるよう、定期的なメンテナンスを承っております。また、クリーニングも承っておりますので、オカムラサポートアンドサービスに御用命ください。
- この組立・取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。
- 保証期間終了後も、修理により、機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っております。
- 弊社では、商品の持ち込みによる返品や修理を承っておりません。ご依頼は必ず、ご購入された販売店、もしくは、オカムラサポートアンドサービスへ連絡してください。

主な材質と表面加工

部 位		主な材質	表面加工	
デスク本体	天板	表面材	メラミン化粧板	
		縁材	ABS 樹脂	
		芯材	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
		配線キャップ	ABS 樹脂 > ABS <	—
	上部フレーム	本体	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
		先端キャップ	ABS 樹脂 > ABS <	—
	配線トレー	本体	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
	昇降ユニット	本体外装	金属（鋼）	ポリエステル塗装
	下部アーム	本体	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
		先端キャップ	ABS 樹脂 > ABS <	—
アジャスター		ポリプロピレン > PP <	—	
左右スペーサー		金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装	
ケーブルガイド	ケーブルガイド	取付金具	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
		縦ダクト	金属（鋼）	ポリエステル塗装またはアミノアルキド樹脂塗装
		本体	ポリプロピレン > PP <	—

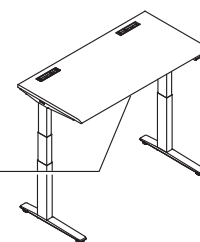
※>○○<は部品への材質表示を示しています。リサイクルにお役立てください。

※製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

製品コードラベル

本製品には製品コードなどを記載した製品コードラベルが貼ってあります。お問い合わせや同一製品を再注文される際にご確認ください。

OKamura	JOIFA308
製品コード ○○○○○○ ○○○○	
製造年/ロットNo. 20○○年 / 12345678A	
JOIFA標準使用期間 ○○年	



保証の明細

保証には、購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただく必要があります。領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管してください。

保証する項目について

この製品の保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)の「オフィス家具 - 製品安全基準のガイドライン」に基づいております。特別な定めある場合以外、通常の状態で使用された場合、3つの種別ごとに(お客様ご購入の日から)1年・2年・3年としております。

外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、背座の張り地及びレザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年※1

※1 一部の製品では、構造体の保証を8年としているものがあります。

注)上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態(1日8時間程度)で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での保証期間ではございません。

家具の無償保証は一般的に、通常の補修(メンテナンス)が行なわれていることが前提となります。

※保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

※保証期間経過後の修理は、有料にて承ります。

(経過後の点検・修理は、製品を保有される方に実施責任があります。)

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- 購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただけない場合。
- 製品コードラベルの剥離、汚損などにより、型式、ロット等の識別ができないもの。
- 弊社発行の説明書に従って組み立てていない製品の故障及び破損。
- 弊社発行の取扱説明書・商品添付ラベル等に従って使用されていない製品の故障または破損。
- 使用方法において、お客様の過失が認められる場合。
- 中古品・譲渡品・個人売買品、及び購入日、購入先が不明な商品の故障または破損。
- 消耗品(キャスター・肘パッド脚端及びフェルト・電池・電球・バッテリー等)
- 異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用、保管による故障または破損。
- 天然材料(木・革・その他)における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い。
- 弊社に責のない外部要因(天災地変・火災・異常電圧等)に起因する故障及び破損。
- 通常使用により生じる接触や摩擦による変色・褪色・異音・変形・キズ・錆・カビの発生等。
- 使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化。
- 可動部の動作音(椅子のリクライニング等)。
- 日本国以外で使用する場合。(大使館及び公海上を含む)
- 設置後の移動による故障及び破損。
- お客様の運搬による故障及び破損。

修理用部品の保有期間について

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格、納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきます。

JOIFA標準使用期間

日本オフィス家具協会(JOIFA)では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なくご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。この期間は注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると、摩耗や経年劣化による故障が増大することが考えられます。その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には、買い替えをお勧めさせていただく場合も有ります。

詳しくは、日本オフィス家具協会(JOIFA)ホームページを、ご覧ください。

<https://www.joifa.or.jp/>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体に、お問い合わせください。

okamura

株式会社オカムラ

横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル

<https://okamura.co.jp>

修理に関するご用命は

オカムラサポートアンドサービス

フリーダイヤル ☎[®] 0120-448-105

受付時間 24H 受付 (無休)

製品に関するご質問は

お客様相談室

フリーダイヤル ☎[®] 0120-81-9060

受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただくと、ご案内がスムーズです。

G8AWG6 / 2021-09